

震災復興支援

国際交流フェスタ「わいわい春まつり」開催！！

4月17日（日）鈴鹿ハンターにて国際交流フェスタ2011「わいわい春まつり」を開催しました。昨年、大好評を得ましたこの春まつり、今回は、東日本大震災復興支援イベントとして実施しました。このような災害が起こると、より一層地域のつながりの必要性を感じます。地域住民である外国人との共生も含め、互いに顔の見える関係を築きたい。もともとこの春まつりは、互いの違いを認め合い、触れ合い、地域内の絆を深めよう、というコンセプトで行っている事業で、今まさに多国籍のスタッフが心をひとつにして、被災地を応援・サポートしようとして協力していました。又、本部受付テントには、防災グッズの見本なども置き、地震に慣れない外国のみなさんに、地震に備える啓発も同時に行いました。当日は約2,500名のお客様をお迎えし、会場全体が丸一日国際交流の場、元気を発信する場となりました。スタッフは、17カ国、約400名のみなさんに支えていただきました。みなさまから預かりました大切な義援金は鈴鹿市から日本赤十字社をとおして被災された方々に送ります。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

センターコート

【パフォーマンスショー】



梁 天仁 三重天天二胡会弦楽団のみなさん
演目はムーンリバー、菊花台、ものけ姫、となりのトトロなど

<二胡>

センターコートステージは二胡の演奏で始まりました。朝一番のオープニングにふさわしい二胡の美しい音色に、心癒され、買物にいらっしやっただお客様も、その音色に引き寄せられて、カートを引いたまま立ち止まり、しばしなめらかな演奏に聴き入ってみました。

<着物ショー>

小林豊子きもの学院のみなさんによる着物ショー。日本の伝統・文化を次世代に伝え、又、世界に伝えたいと幅広く活動されています。



橋本豊梢先生率いる小林豊子きもの学院のみなさん



今回小林豊子きもの学院より、若いスタッフが2名、募金活動にも参加して下さいました。艶やかで人目を引く着物姿に、お年寄りから小さなお子さんまで、あたたかいお気持ちを示して下さいました。ありがとうございます！



<フィリピン バンブーダンス>



今回センターコートでは、子供が中心となって遊べるような世界の踊りやゲームのコーナーをたくさん設けました。フィリピン人は鈴鹿にもたくさん住んでいます。今回はフィリピン人協会から、たくさんの子供たちがバンブーダンスを披露してくれ、日本の子供達も挑戦しました。ちょっと難しかったかな・・・?でも楽しかったネ!

<ヒップホップダンス>



飛び入りで中・高生によるヒップホップダンスがありました。ほんの5分ほどのパフォーマンスでしたが、躍動感に溢れ、さすがさが感じられるステージでした。

<ベリーダンス>



何といても大人気だったのがベリーダンス。踊ってくれたのは、スタジオアピエルト・オリエンタルダンスのシャディア先生と生徒さん達。シャディア先生はチュニジア出身のフランス育ちだそうです。とてもエキゾチックで魅惑的なダンスに、あれよあれよという間にセンターコートの会場がお客様でいっぱい・・・スゴイ!! 衣装もとても綺麗で、うっとりしてしまいました。シャディア先生は、この日、お国から出ていらしたお母様と一緒にフィリピンに飛ぶ予定で、出演は時間的に難しかったのですが、昨年の春まつりの様子をご覧になり、是非踊りましょう!と、お忙しいにもかかわらず、わざわざ松阪から鈴鹿まで来て下さいました。素敵でした。ありがとうございました。



センターコートステージはみるみる熱気に包まれました。最近ポピュラーになってきたベリーダンス。習ってみたいという女性のお客様も、たくさんいらっしゃいました。

<フラメンコ>



フラメンコを踊ってくれたのは、同じくスタジオ アビエルトのアリシア先生と生徒さん達。アリシアさんはスペイン人です。踊る時の目力が強く、とても情熱的でした。スタジオを運営する竹内さん（オレンジの衣装の方）にお話を伺った所、スタジオの外国人の先生方の中には、日本の原発事故を心配する国の家族からの助言で、一時的に帰国する仲間が居る中で、こんな時こそ日本に残りたい。逃げるわけには行かないと、あえて日本に残ってみえる先生方もいらっしゃるそうです。会場にいらっしゃった他の外国人のお客様も、日本に対する心配や愛情を示され、何度か思わず涙が出そうになりました。

<カンフー教室>



鈴鹿地区日中友好協会によるカンフー教室。ちびっ子やブラジル人・アメリカ人など、興味がある人がカンフー体験！みんなでかまえて、腰を落とし、拳を出すと、それだけで充分かっこいいです♪最後に忍（オス）！をして終了！



<世界の子供の踊り&遊び>



今回のわいわい春まつりでは、ちびっ子が遊べるコーナーをたくさん設けました。センターコートでは、世界の踊りやゲームを体験するコーナーを作り、パタタ・ケンチというブラジルのゲームやソルティハスというペルーのゲームや国名当てクイズをしたり、「イラリエ」「オートカボ」「ポキポキ」というダンスをしたりしました。子どもたちは元気いっぱい体を動かしたり、「はぁ〜い！」と手を挙げて答えたり・・・とても微笑ましい光景に包まれました。このコーナーを担当してくれたのは、公立保育所の外国人コーディネーターや外国人加配保育士などのみなさん。さすがプロだけあって、子どもたちはすぐに踊りやゲームに引き込まれ、楽しい時間を一緒に過ごすことができました。参加賞やクイズの景品には、昨年鈴鹿サーキット様より頂きましたペンや筆箱、AGF 鈴鹿様より頂きましたコーヒーの詰合せ、またボランティアの唯見さんから寄付して頂きましたアジア各国の民芸品を使用させていただきました。ありがとうございました。



[ダンボールクラフト]

ホンダ技研のダンボールクラフトコーナーは、朝からすごい人気で、子供達が途切れることがありませんでした。ものづくりって楽しいですね！一人で頑張って作る子、おかあさんやおじいちゃんと一緒に共同作業する子、みんな眼差しは真剣でした！



[わいわい色あそび]



パステルやクレヨンを使って、まさにらくがき、色あそび！とーっても癒されます。疲れた大人にもよさそうです。当日は「祈りアート」というテーマで絵を描いたそうです。担当してくれたのは、四日市にある「アトリエ・いろのは」のゆりさんとふわりさん。とってもステキなおふたりです。



[サブコート]

[民族衣装コーナー]



会場の雰囲気盛り上げていた民族衣装試着体験コーナー。民族衣装に着替えたら、しばらくその姿で会場をぐるーっとひと回りしてもらいます。国際色豊かに各国の衣装を着て、向けられるカメラにもこやかにポーズ！素敵ですね！

[似顔絵コーナー]



今年初めての試みで、似顔絵コーナーを設けました。せっかく民族衣装を着てもらっているので、記念に描いてもらったら嬉しいですね。似顔絵を描いてくれたのは、井上 恵さん。人気のコーナーで休む暇がなかったようですね。ありがとうございました。

[三重県国際室 展示ブース]



各国の絵地図のパネルなどを使って、子供が多文化に慣れ親しみ、様々な国の歴史や文化に関心を抱けるようなクイズがありました。
また、三重県内の外国人登録者数などの統計データを紹介しながら、三重県の多文化共生社会の実現に向けての取り組みも紹介していました。

[JICA中部 展示ブース]



JICA(国際協力機構)の活動写真を展示し、活動内容の紹介をしながら、同時にJICAボランティアの個別公募相談のコーナーを設けていただきました。

[愛伝舎 展示ブース]



地元で、在住外国人の強力な助っ人として幅広く活動するNPO法人「愛伝舎」さん。多文化共生社会実現に向けての活動紹介コーナーです。

[IATSSフォーラム 展示ブース]



(財)国際交通安全学会 IATSSフォーラムさんは、フォーラムの研修内容を紹介するパネル展示や東南アジアで生産されている様々な衣装や小物を紹介していただきました。また、アセアン9カ国のビデオ紹介コーナーもありましたよ！



[鈴鹿国際大学 インターナショナルカフェ]



処狭し！と人が溢れていたこのコーナー。鈴鹿国際大学の留学生さん達が、お茶やお菓子を振る舞いながら、カンパセーションを楽しんでいました。話したい人がいっぱいでしたね！

国際屋台村

美味しいものが
いっぱい！！



<フィリピン>



<インド>



<マレーシア>



<ベトナム>



<ネパール>



<日本>



<ペルー>



<韓国>



<ボリビア>



<ブラジル>



<タイ>



<中国>



<フェアトレード>



<韓国物産>



<スリランカ>



＜ペルー民芸品＞



＜ブルキナファソ民芸品＞



＜全体＞

屋外コート

[アメフト体験&イースターエッグ作り]



教育委員会で働いているSEFメンバーが、今年もおまつりに参加してくれました。
小さな子供たちが参加できるアメフトゲームや、イースターエッグづくり。
かわいい模様のだまごがたくさんできました。
英語で会話してみたい！という子供達にはピッタリのコーナー。
「アメリカ人はかっこえなあ〜」と素直な感想の女の子も！！（笑）



[日本の子どもの遊びコーナー]



牧田地区地域づくり協議会の中の多文化共生委員会のみなさんが、昔なつかしい竹馬・竹ぼっこり・水鉄砲のコーナーを設けてくれました。
外国の子供たちばかりでなく、日本の子供達も大喜び！
いつまでも大切にしたい、日本の古き良き時代の遊びですネ。

[フリーマーケット]



今回は弁天山公園にスペースを広げて行ったフリーマーケットのコーナー。
出店もかなりの数で、お客様もたくさんいらっしゃいました。
お天気にも恵まれ。気持ちの良さそうな景色でした。



[屋外ステージ]

<フィリピンバンド>



「THE SUN」というフィリピンの国際カップルのバンド。昨年も出演してもらいました。チャリティコンサートや三重県各地の国際交流イベントに多く参加しているそうです。屋外ステージオープニングということで、タガログ語、英語、日本語のノリの良い曲で盛り上げていただきました。これで一気にエンジンがかかりました！

<ペルー フォルクローレ>



毎度お馴染みの「マヨ」によるフォルクローレ。市内にペルーレストランを営んでいます。お店でも土曜日の夜はライブをしています。今回は新しいメンバーで参加してくれました。

<コリアン舞踊シアリ>



昨年大好評だった、在日コリアン舞踏サークル「シアリ」による演舞。メンバーは皆20代と若くて可愛らしいみなさんです。踊りもとても初々しく、すがすがしい！毎週火曜日に集まって活動しているそうです。12月にも大きな舞台公演があるそうですよ！



今回披露してくれた演目は
 * サダンの舞
 * サンモノリ
 * 民族打楽器演奏「サムルノリ」
 ↓
 4つの民族楽器を使った打楽器のアンサンブルです。

<ボリビアダンス>



3年前にグループ活動を始めた「アリ」。ボリビアの文化を紹介しながら日本人との交流を深めています。御堂筋パレードも5年間続けて踊っているそうです。子供達がとーっても可愛かったです！

<津軽三味線>



日本民謡「新田会」による津軽三味線。
 演目は津軽じょんから、南部じょんから、秋田甚句、九州炭坑節、東京音頭などで、民謡の合唱あり、三味線あり、輪踊りありで、ひよっこのお面をかぶった太鼓も、特に外国人には珍しく、とても興味深いパフォーマンスでした。
 総勢42名でご出演いただきましたので、圧巻でした。

<和太鼓>



東海道石薬師大木神社太鼓連による和太鼓。
 伊勢龍神という雨乞いの曲、獅子舞（獅子とその番人のひよっことおかめの面白いストーリー）、勇み駒のトンパネという曲、そしてお客様と交流するお諏訪囃子。
 どれもとても興味深く、外国人の大人や子供も太鼓に初挑戦！していました。



<フィナーレ サンバ>



大フィナーレは恒例のサンバで盛り上がりました！
 日本との絆を深めようと鈴鹿で長く活動しているUBJ(ユニオン・ブラジル・ジャポン)と社会福祉協議会から立ち上がった多文化共生推進に積極的に取り組んでいる「鈴とも」、そして社会福祉法人 青山里会のメンバーのみなさん、また、名古屋からもたくさん応援メンバーがかけつけてくれました。
 衣装も様々で、本格的なものから、手作りのものまで色鮮やかで、見ているだけでもウキウキしてしまいます。
 サンバのリズムに乗って、踊りに参加する人、一緒に踊るのは恥ずかしいけれど、体でリズムをとる人、みなさんそれぞれ楽しんでいました。衣装を着けた子供たちの可愛らしさに、思わずカメラを向ける人の数が目立ちました。

東日本大震災復興義援金



今回、飯野高校のボランティア部の生徒さんと、ベルフォンテンメンバーの中・高生達が、ボランティアとして、わいわい春まつりを手伝ってくれました。募金箱を持って義援金を呼びかけてくれたり、民族衣装のコーナーなどを担当してくれて、男子は音響を担当してくれて、ステージ進行を強力にサポートしてくれました。若い力って素晴らしい！！本当にありがとうございました。



5月17日(火)、鈴鹿市役所の保健福祉部の窓口にて、わいわい春まつりで集まった義援金138,791円を実行委員長の島村(写真左より、お渡ししました。会場にいらしゃった多くのお客様の他、パフォーマー、屋台の方など関係者の皆さんからも、義援金をお預かりしました。みなさまのあたたかいお気持ちに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今回、おまつりの中で感じたことがあります。

それは、たくさんの外国の方が、心から日本を心配し、思いを寄せてくれているということです。友人がたくさん自国に戻っても、自分は大好きな日本から逃げることは出来ないと、あえて残っている方もいらっしゃいました。



日本を心配し、被災地の復興を信じて応援してくれる外国人の方々と、会場で言葉を交わす中で、彼らの日本と日本人に対する愛情に感謝し、改めてこうした外国の方々と絆を深めることの大切さを感じました。日本人と外国人が会場のあちらこちらで、料理のお話をしたり、踊ったりしている様子を見て、こんな春まつりのような光景が、日常の鈴鹿の町のあちこちでみられるようになったら嬉しいなあ～と思います。

そんな日がくることを目指して・・・
また、来年4月22日にお逢いしましょう！

ハンターさん、ありがとうございました。

